

基本目標			取組目標	復興まちづくり 計画 との対応	担当課	ハード○ ソフト●	費用実績・予算（単位：百万円）		これまでの総括		備考	
基本方針							事業費合計 （R7時点）	総事業費 （現状での 予想含む）	※令和7年度時点 今後の展望 ※令和8年度以降			
主要施策												
1	安全・安心の確保											
1	1	安全なまちづくり										
1	1	1	逢初川流域を一体とした 流域管理への取組	1	宅地造成及び特定盛土等規制法施行にかかる対応と宅地関係にかかる法令の整理	3章3（3）	まちづくり課 （静岡県）	●	31.6	103.6	R5年度より衛星監視を実施しており、新法施行にかかる、県との事務分担整理を実施した。 引き続き衛星監視を継続し、県と協力しながら、新法令による指導を行っていく。	
1	1	2	地域の状況に応じた 安全確保対策の推進	2	砂防堰堤の適切な維持管理	4章4（1）	都市整備課（県・国）	○	—	—	—	国直轄事業 （R4年度完了）
				3	逢初川の河川改修	4章4（1）	都市整備課（県）	○	1418	未確定※	開渠区間L＝134mと暗渠区間L＝74mの整備が完了しました。 令和8年度までに中期目標であるL＝596mを整備するため、工事及び用地買収を進めます。	
1	1	3	命を守る生活道路の整備	4	市道岸谷本線外道路・取付道路の整備	4章2（1）	都市整備課	○	244.9	421.8	調査設計業務に関しては完了している。用地買収については、全体の8割買収が完了している。 工事については、全体の2割が完了している。 令和8年度末暫定的な道路の供用開始にむけて工事を行う。 今後は、当初計画の道路完成に向けて用地買収・道路工事を継続して行う。	
				5	市道の整備、適切な維持管理	4章2（1）	都市整備課	○	42	130	引地堀坂支線拡幅工事に着手。 引地堀坂支線拡幅工事、岸谷本線（暗渠部）工事については、令和8年度中に終わらせ、 伊豆山浜本線については令和10年度着工を見込んでいる。	
1	1	4	避難所・避難路の整備	6	伊豆山小学校の指定避難所機能の向上、地域の公民館等の一時避難場所の活用検討	4章4（4） 4章4（5）	危機管理課	● ○	—	—	指定避難所である伊豆山小学校の設備を一部改修するとともに、 一時避難所としての機能を有する伊豆山コミュニティ防災センター内に防災倉庫を設置した。 引き続き、指定避難所の機能向上を目指していくとともに、一時避難所の活用方法について検討していく。	
				7	災害ボランティアセンター活動拠点、資機材の整備	—	社会福祉課	—	—	—	災害時、活動拠点を総合福祉センター内に確保することを社会福祉協議会と調整し、 資機材と倉庫を同センター内1階に確保した。 駐車場の確保については、災害ボランティアセンターが立ち上がった時点で決定する。	
				8	災害時の迂回路の整備	4章4（6）	危機管理課	○	—	未定	地域のニーズの把握に努め、2方向避難経路の整備を実施した。 現地確認により、必要な整備内容について、検討していく。	
				9	狭あい道路の整備・改良の推進と交通安全対策の実施	4章4（6）	都市整備課	○	23	未定	伊豆山地区の狭あい道路拡幅は、建物が道路沿いに競っている箇所が多いため、 建て替え等のタイミングで拡幅工事を行っている状況。 今後においても必要箇所の拡幅を進める。	
1	2	安心なまちづくり										
1	2	1	防災意識づくりの推進	10	土木・建設業者等事業者に対する安全確保やコンプライアンス意識の啓発を 目的とした広報誌の充実	4章4（7）	まちづくり課	●	—	—	窓口での説明に加え、広報誌等の活用した周知啓発を行った。 引き続き開発に対する防災措置の重要性を啓発していく。	
				11	土木・建設業者等事業者に対する安全確保やコンプライアンス意識の啓発を 目的とした申請者に対する窓口指導	4章4（7）	まちづくり課	●	—	—	事業者に対し、適切に指導を行った。 引き続き、安全確保やコンプライアンス意識の醸成を図るため、適切な指導を行っていく。	
				12	「わたしの避難計画」の作成・普及事業の推進	4章4（7）	危機管理課	●	—	—	「わたしの避難計画」全戸配布、作成説明、避難計画の更新（見直し）について周知した。 具体的には、広報あたまに掲載するとともに、防災訓練に「わたしの避難計画作成」をメニューとして取り 入れ実施した。 引き続き、「わたしの避難計画作成」を防災訓練のメニューとして取り入れていく。 また、防災講座等においても、積極的に周知していく。	
1	2	2	地域防災機能の充実	13	消防団第4分団詰所の整備	4章4（3）	消防総務課	○	256.145	256.145	計画通り、旧詰所の解体、用地買収、ボーリング等調査、設計、建設工事を行った。 今後は適切に管理、運用していく。	
				14	消防団第4分団消防ポンプ自動車の更新配備	4章4（3）	消防総務課	○	20	20	計画通り、車両の更新配備、管理、運用を行った。 今後は引き続き、適切に管理、運用していく。	
				15	消火栓の整備	4章4（2）	消防総務課	○	6.7	6.7	計画通り、消火栓の設置、管理を行った。 今後も引き続き、消火栓の設置、管理を行っていく。	
				16	自主防災会活動の支援・充実	4章4（7）	危機管理課	●	48	61	自主防災会防災資機材等購入整備費補助金の利用を促し、防災資機材の整備につなげた。 また、地域及び学校等に出向き、防災出前講座等を実施した。 自主防災会防災資機材等購入整備費補助金の利用を促し、防災資機材の整備につなげるとともに、 引き続き防災出前講座等を積極的に実施していく。	
1	2	3	危機管理体制の強化	17	熱海市地域防災計画の見直し	4章4	危機管理課	—	—	—	地域防災計画の見直し 地域防災計画の見直し	
				18	SNS等を活用した災害情報の提供に関する判断基準及び伝達体制の整備	4章4（7）	危機管理課	●	—	—	メールマガジン、SNS等の登録者数を増加させることにより、災害情報の伝達をより効果的に実施した。 引き続き、メールマガジン、SNS等の登録者数を増加させるための広報を実施していく。	

2	速やかな生活再建											
2	1	住まいへの支援										
2	1	1	応急仮設住宅等の弾力的な運用	19	復旧・復興の進捗や被災者の状況に合わせた運用	5 章 2	長寿介護課	●	46.2	52.4	令和 4 年度に静岡県が実施した応急仮設住宅の供与事業を引き継ぐ形で令和 5 年度より事業を開始し、これまで延べ 6 4 世帯に対し支援を行った。	
				20	生活再建に向けた相談体制の充実	4 章 7（3）	長寿介護課	●	21.4	21.4	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、見守り・相談支援のほか、地域交流拠点（いずさんっち）においてイベント等を開催し、地域との交流機会の創出を図った。 ささえ違いセンターの機能を被災者支援室と統合し、支援継続中の世帯を中心に生活再建に向けた支援を行っていく。	
2	1	2	警戒区域に係る被災者向け宅地・住宅への支援	21	被災宅地復旧事業補助金の活用による宅地整備の推進	4 章 1（1） 5 章 1（1）	都市整備課	○ ○	23.343	233.343	隣接する道路工事の期間延長に伴い、令和 6 年度に申請期限を延長した。 道路工事の完成の遅れから、利用件数が目標値に達成しない状況。 令和 8 年度末まで道路工事を行うことから、申請期限を令和 8 年度から令和 9 年度へ再度延長し、活用を促進する。	
				22	民間住宅や公営住宅を活用した帰還支援	5 章 1（1）	まちづくり課	○	－	－	被災者へ応急的な住まいとして、目的外使用を活用した公営住宅の提供を行った。〔合計13世帯〕 被災者の帰還について、関係機関との協調支援を継続する。	
2	1	3	住宅の自力再建に対する支援	23	宅地再建者への支援の実施	4 章 1（1） 5 章 1（1）	都市整備課	○ ○	23.343	233.343	隣接する道路工事の期間延長に伴い、令和 6 年度に申請期限を延長した。 道路工事の完成の遅れから、利用件数が目標値に達成しない状況。 令和 8 年度末まで道路工事を行うことから、申請期限を令和 8 年度から令和 9 年度へ再度延長し、活用を促進する。	
				24	ライフライン整備の完了	4 章 7（2）	都市整備課	○	－	－	現地で生活再建された方々のライフラインは復旧済み。 道路事業が暫定整備となったことで、当初計画とは違うライフライン整備となる。 令和8年度末の暫定整備完了に向け、現地で生活再建を望んでいる方々が生活できるよう、ライフライン整備を行う。	
2	2	生活への支援										
2	2	1	被災者の生活設計に向けた時間提示	25	基盤整備事業についての工程表の公表	5 章 3（4）	都市整備課	●	－	－	計画の公表、工事スケジュール、進捗状況の周知については、地区別説明会、懇話会等、ホームページや広報誌、掲示板なども利用しながら行った。 基盤整備事業は令和8年度末で暫定整備であるが終了となることから、引続き適宜修正・周知を行っていく。	
				26	ライフライン復旧についての行程表の公表	5 章 3（4）	都市整備課	●	－	－	ライフライン復旧については、道路整備事業と同時に進行するため、ライフラインのみ特出しで周知を行うことはなかったが、現地で生活再建された方々のライフラインは復旧済み。 基盤整備事業は暫定整備であるが令和8年度末で終了となることから、引続き適宜修正・周知を行っていく。	
2	2	2	見守りによる生活支援	27	見守り相談、関係機関へのつなぎの支援	4 章 7（3）	長寿介護課 （ささえ違いセンター）	●	21.4	21.4	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、ささえ違いセンターを中核に訪問・電話等による見守り・相談支援を行った。 ささえ違いセンターの機能を被災者支援室に統合し、支援継続中の世帯を中心に、相談業務を継続していく。	
				28	高齢者、障がいのある方等の健康維持に関する支援	4 章 7（3）	長寿介護課 （ささえ違いセンター）	●	21.4	21.4	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、ささえ違いセンターを中核に訪問・電話等による見守り・相談支援を行った。 ささえ違いセンターの機能を被災者支援室に統合し、支援継続中の世帯を中心に、相談業務を継続していく。	
				29	交流の場づくりの推進	4 章 7（3）	長寿介護課 （ささえ違いセンター）	－	21.4	21.4	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、見守り・相談支援のほか、地域交流拠点（いずさんっち）においてイベント等を開催し、地域との交流機会の創出を図った。 令和 8 年度に新設された伊豆山コミュニティ防災センターに活動拠点を移し、社会福祉協議会の地域サロン活動として、地域交流事業の継続開催に努める。	
				30	熱海市被災中小企業復旧支援事業費補助金	5 章 2	観光経済課	●	32.7	32.7	－ －	
				31	熱海市チャレンジ応援センター（A-supō）での経営相談	4 章 7（3）	観光経済課	●	－	－	被災事業者の事業再開に関する直接的な相談対応について、概ね完了したものと判断しています。 被災事業者の事業再開に関する相談は減少傾向にありますが、引き続き事業再開、経営相談等の支援を行います。	
2	2	4	地域交通の確保	32	公共交通に関する調査	4 章 2（2）	まちづくり課	●	8	13	令和6年度に地域公共交通計画を策定、毎年指標を調査し協議会にて進捗状況を確認している。 引き続き熱海市地域公共交通計画に基づき課題に取り組んでいく。	
				33	公共交通の総合的な見直し	4 章 2（2） 8（3）	まちづくり課	● ○	8	13	令和6年度に地域公共交通計画を策定、毎年指標を調査し協議会にて進捗状況を確認している。 引き続き熱海市地域公共交通計画に基づき課題に取り組んでいく。	
				34	既存の路線バスの運行継続	4 章 2（2）	まちづくり課	●	32.3	49.1	実施スケジュールに則り取組を実施している。令和 7 年度から国の補助も受け運行継続中。 引き続き路線を維持していく。	

2	2	生活への支援											
2	2	5	安心できる子育て環境の整備	35	子どものいる世帯における心のケア及び支援	4 章 7 （ 3 ）	長寿介護課 （ささえ違いセ ンター）	●	21.4	21.4	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、 ささえ違いセンターを中核に訪問・電話等による見守り・相談支援を行った。		
				ささえ違いセンターの機能を被災者支援室に統合し、支援継続中の世帯を中心に、相談業務を継続していく。									
				36	安全な通学路の整備・維持管理	4 章 4 （ 6 ）	学校教育課 都市整備課	○	－	－	通学路の維持管理を行うとともに、狭あい部分については、詳細設計を行い、 拡幅に向けて準備を進めている。		
令和8年度は引続き通学路の維持管理を行うとともに、詳細設計を行い、補償費を算出、 令和9年度以降、用地買収・工事を進める。													
2	2	6	地域コミュニティの再生支援	37	地域で行う子どもの見守り活動等に対する支援	4 章 7 （ 3 ）	地域協働課	●	0.43	不明※	R4年度は2件の地域コミュニティ活動推進事業補助金を交付し、 R7年度には1件の地域コミュニティ活動推進事業補助金(LED防犯灯)を交付した。	※要望によるため	
				こどもの見守り活動等の環境整備を担う町内会に対し、必要に応じた財政的支援を継続する。									
				R4年度に1件の協働の地域づくり交付金を交付した。									
2	2	6	地域コミュニティの再生支援	38	町内会等への地域コミュニティ活性化の支援	4 章 7 （ 3 ）	地域協働課	●	0.7	不明※	各町内会が連携して行う地域活動に対し、必要に応じた財政的支援を継続する。	※要望によるため	
				39	公園緑地等の公共空間の整備	4 章 7 5 章 1	都市整備課	○ ○	－	223	現地測量を行い、公園整備に必要な用地取得を行い、 公園WSや地区別説明会などで多数の方から意見を伺い、公園の整備について設計を行いました。		
											公園整備箇所が、道路・河川工事の作業ヤードになっているため、令和9年度に造成及び緑化をし、 地域の皆様の利用形態に合わせ公園を整備していきます。		
3	創造的復興												
3	1	地区内の環境向上に資する創制的取組											
3	1	1	歴史を継承する 地域文化の再生・形成	40	伊豆山地域の歴史文化に関わる講演会等	4 章 8 （ 2 ）	生涯学習課	●	0.2	0.3	講演会の実施により地区の歴史文化資源の掘り起こしがされ、市民の関心を高めている。		
地区住民や観光事業者と協働で講演会等による更なる歴史文化資源の掘り起こし、 情報発信と観光資源への磨き上げを進めていく。													
3	1	2	景観に配慮した 地区まちづくり整備	41	公共施設を建設する際、関係部署へ景観施策の周知	4 章 8 （ 4 ）	まちづくり課	●	－	－	実施スケジュールに基づき関係各課に周知を行っている。		
				景観を守り育むため引き続き適切な周知を行っていく。									
				42	公共施設を建設する際の協議、調整を行う仕組み作り	4 章 8 （ 4 ）	まちづくり課	●	－	－	実施スケジュールに基づき事業の担当課等と事前相談を行っている。		
				景観を守り育むため引き続き事前相談を行っていく。									
3	2	地区外から人を呼び込む創制的取組											
3	2	1	地域資源の活用	43	伊豆山温泉資源保護整備への補助と誘客PRの実施	4 章 5 （ 3 ） 4 章 8 （ 2 ）	観光経済課	● ●	0.88	0.88	伊豆山地区の温泉保護のため、伊豆山温泉組合を通じて事業を行う。		
				引き続き温泉資源保護のため補助を行う。									
				44	伊豆山地区の観光資源の継続的なPR	4 章 8 （ 2 ）	観光経済課	●	20.208	20.208	毎年度、伊豆山観光協会を通じて伊豆山地区への回遊性を高める施策を継続的に実施してきた。		
				引き続き伊豆山地区への誘客につながる施策を継続する。									
3	2	2	伊豆山地区の活性化と 多様な人材との協働	45	公有地（猪洞市営住宅跡地）の有効活用に向けた整備	5 章 1 （ 4 ）	危機管理課	○	309.4	309.4	ボーリング等調査を実施し、地元町内会長等の意向をうかがいながら、設計、建設工事を完了した。		
				伊豆山コミュニティ防災センターの維持管理委託に関する覚書をもとに、管理・運用していく。									
				46	避難者と地域がつながる場の提供	4 章 7 （ 3 ）	長寿介護課 （ささえ違いセ ンター）	－	21.4	21.4	熱海市社会福祉協議会に業務委託し、見守り・相談支援のほか、 地域交流拠点（いずさんっち）においてイベント等を開催し、地域との交流機会の創出を図った。		
令和 8 年度に新設された伊豆山コミュニティ防災センターに活動拠点を移し、社会福祉協議会の地域サロン活動として、地域交流事業の継続開催に努める。													
				47	町内会（地域）と多様な人材との協働事業の支援	5 章 3 （ 6 ）	地域協働課	●	－	－	復興の段階に応じ、町内会（地域）の活動把握を行ってきた。		
				町内会（地域）の要望をもとに、必要な支援を行っていく。									

※赤枠で囲われた箇所につきましては、第7回熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会にて取り上げさせていただく取組事業になります